

2024年度 SDGs 2030 ゴールをめざして 地球をまもる子どもたち

SOE NEWS No.211



2025年 2・3月

センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

はあもにい保育園
3・4・5歳児31人
1月16日



SOE 環境教育プログラム
大豆ってすごいぞ

はあもにい保育園3歳4歳5歳児が しっかりと保育園産みそづくり!!

0～5歳の子どもたちは、いつもオープンスペースで一緒に過ごす「異年齢保育」で過ごしています。

- 🟢みそづくり楽しかった 🟡つぶした豆が柔らかかった
- 🟠劇が楽しかった 🟢だんごを作るのが楽しかった
- 🟡大豆が硬かった 🟠まめにいろいろな大きさがあるのが不思議だった
- 🟢つぶした大豆を丸くするのが難しかった
- 🟡あんな小さな豆からいろんなものができるのが不思議



一人、5～6個みそだんごを握って壺の中に投げ込みます(空気を抜く) 順番もちゃんと守って



みそだんご作りー
先生方が(下写真)混ぜた大豆を今度は子どもたちがだんごに握ります
みんな落ち着いて作業しているのは驚くほど
3歳4歳5歳児がやっているって思えますか？

子どもたちがつぶした大豆に塩と麴を混ぜるのは先生方
あっという間に混ぜていきました



先生方よりー楽しい内容だったためスタッフの方々に親しみを持ち、いつも以上に積極的にみそづくりに参加できた。年上が年下の世話をするなど思いやりあふれる関係性がみられた。多くの学びがあった。

板一小産 とうふ 上手に作ったよ!!

※2月4日に実施した2組の取り組みは次号に掲載

板橋区立板橋第一小学校 3年生◎ 1組28人— 1月21日
◎ 3組29人— 1月23日

春から、自分たちで育てた大豆を収穫。それを入れて、豆腐作り！例年、3年生が挑戦しています。保護者と学校支援地域本部の方々のご支援が素晴らしかったです。



1組
初めの作業
水につけた大豆をミキサーに入れて2分間、機械を休めつつ回す
それを3回分繰り返して生呉(なまご)にする



生呉を少し温め、袋に入れて絞っていくと豆乳が出てくる
おからは袋に残る
お料理などに使える

🍴とても美味しかった 🍲湯葉も美味しかった 🍷大豆が液体になったのがびっくり 🍴蓋をして15分くらいやっているあたりが難しかった 🍴作る前は不安だったけど、作



1組
豆乳を90度まで温めて、火を止め
80度まで下げたら、にがりを入れる
温度計のかかり、真剣でした

り始めると楽しくて面白かった 🍴甘みもあり、いつも食べている味噌汁と味が違っておいしい。お母さんに自慢したい 🍷豆腐を作るときは大豆を一度すりつぶして液体にして、温めて作ることを家で話したい



3組
ミキサーで、大豆の生呉を作った
回るのが面白かったよ



3組
大豆をジュース状にした生呉を袋で絞ると豆乳が...
力がある作業だけど、おもしろい



3組
出来上がった豆腐を
みんなで分けて試食です

栽培して収穫したとうふ 大豆を使って

SOE 環境教育プログラム
大豆ってすごいぞ

板橋区立高島第一中学校
5組21人◎12月12日

～ユネスコスクールの栽培活動の取り組みが素晴らしい～



はじめの作業…大豆を粉碎するミキサーの操作は、真剣・集中



さすが中学生、生具を上手にさらしの袋に入れている



豆乳の温度が90度になるまで
温度計で計っていくのは油断大敵
こんなに上げるわけは
湯葉を生じさせるため



最後の山場…
緩く固まった豆腐をざるに空けて
さらに水の重しを載せて固める
先生も真剣に見守る

生徒たちが感じたこと・考えたこと一

●大豆は栄養が多いのがすごい ●いろいろな食べ物…湯葉や豆乳に変身できるのがすごい ●2千年前から食べられていて、たんぱく質が多いということに気づいた ●自分たちで作った豆腐がおいしかった ●大豆は凄く大事なものだと感じた ●大豆はいろいろなものに変身できてすごい ●豆腐を作るのに大豆と水とにがりだけでできるなんてすごい ●絞るとかストップウォッチが難しかったので、またいつかやりたい ●とっても楽しい体験ができた ●豆腐を一から作るのは大変だったが、おいしくできてよかった ●工程が多いけど、意外と簡単だった ●何気なく食べていた豆腐があんなに作るのが大変なのに驚いた



出来立ての豆腐をお味噌汁にして楽しい試食

板橋区立常盤台小学校
あいキッズ18人◎11月22日

自分たちで育てた綿(ワタ)を収穫して
糸紡ぎと、作品作りをしました

SOE 環境教育プログラム

綿から糸を紡ごう



初めに、綿は私たちの生活の中で、どこで使われているか、考え合った後、実際に綿に触り、その感触とポリエステルとの違いを確かめました。最後に、糸に紡いで、それを工作絵にして楽しみました。



…**綿**から糸が作れるということ。**綿**が

お札などにも使われていること **糸紡ぎ**が難しい。でも楽しかった **綿**から糸ができるとは思わなかった

丈夫な糸ができてよかった **機械**で種と綿を分離するのが面白かった **作ってみたいもの**【クッション・エプロン・巾着・洋服・マフラー】



板橋区立はすのみ児童館
2歳から小5児童と父母保護者
19人◎11月26日

親子で作ろう どんぐり工作
どんぐりコロコロ
お山はおおさわぎ

SOE 環境教育プログラム



「コマづくり・人形づくり」今回も良い企画でした。仕事帰りの母親・休日を取っている父親など、わが子が楽しんでほしいとの思いから、熱心に付き添って、親子工作を楽しみました。秋のおくりものです。七色の葉っぱやどんぐりをいとおしそうにながめて、作品に。何かしみじみした温かい雰囲気でした。

児童館職員より「テーブル同士で見せ合ったり、コマをまわしたり楽しくできていた。みんなで発表しあえたのもよかった。紙芝居を通して、自然の大切さを親子で知る機会になった。親も一緒に楽しんで参加していた」



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp